

【緊急アンケート集計結果】

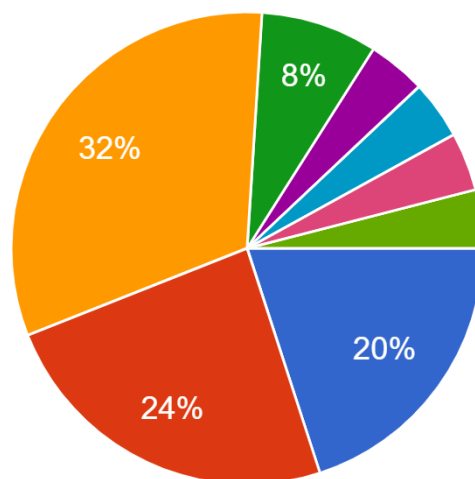
中東情勢緊迫化による石油化学系資材、 消耗品（MRO）の供給状況について緊急 アンケートを実施

①調査期間	2026年2月末～2026年4月中旬までの期間の事象について
②回答期間	2026年4月13日(月)～4月17日(金)
③回答方式	個別メール送信により、GoogleFormへの回答を依頼
④対象者	正会員
⑤依頼数	92件
⑥回収数	25件; 回収率27.2%

【中東情勢緊迫化による石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート：集計結果1】

現在、石油化学系資材（加工油・洗浄剤・樹脂）、消耗品の供給状況について

25件の回答



- 現在のところ従来通り調達出来ている。
- 調達は出来ているが、著しく調達コストが増加(値上がり)している。
- 調達出来ているが、十分な量が確保出来ていない。
- 必要な資材の全部、または一部のアイテムが調達できない。
- 在庫切れで次回在庫未定
- 加工油は今のところ調達できているが...
- 値上がりしたほか、次回発注から受注...
- 5月より供給未定との事

数量不足（十分に確保できない）32%、コスト増加（値上がり）24%、
従来通り（支障なし）20%、全く調達できないアイテム有り8% その他16%

【中東情勢緊迫化による石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート：集計結果2】

石油化学系資材（加工油・洗浄剤・樹脂）、消耗品の供給不足への対応について

24件の回答

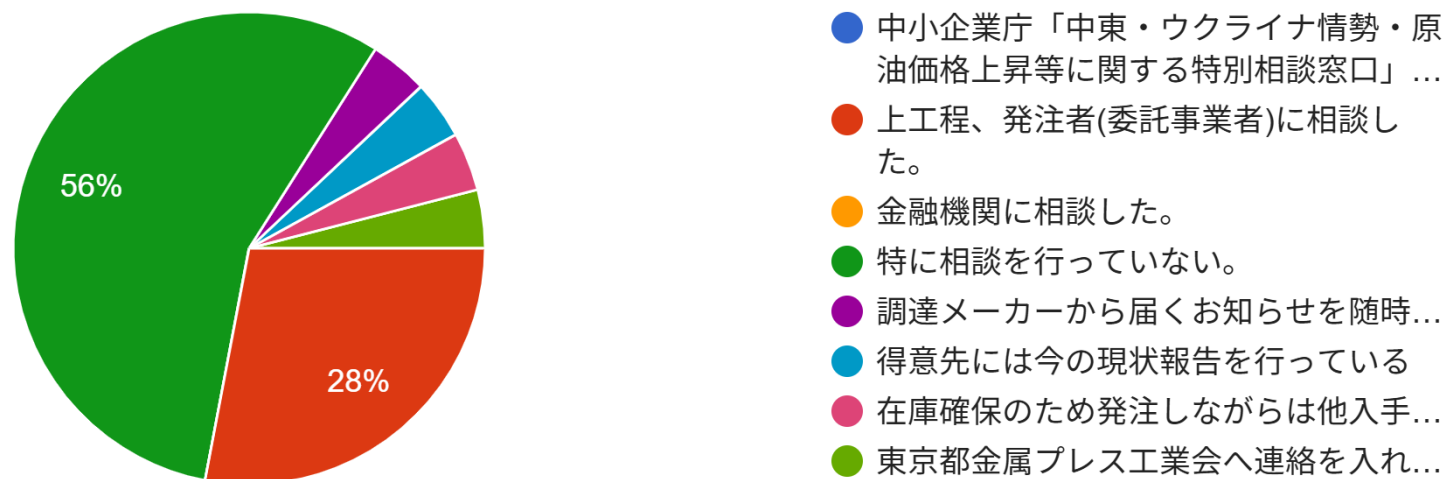


使用量を減らして対処41.7%、流通経路を変えて調達出来ている20.8%、
代替品を検討・使用中 (機能不満足含む)8.3%、その他23%

【中東情勢緊迫化による 石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート：集計結果3】

石油化学系資材（加工油・洗浄剤・樹脂）、消耗品の供給不足に関する相談について

25件の回答



特に相談を行っていない66%、上工程・発注者（委託事業者）に相談した28%、その他16%

【中東情勢緊迫化による 石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート：集計結果4】

各資材ごとの状況まとめ

1. 梱包・物流資材

•ストレッチフィルム・ポリ袋:

最も多くの現場で不足が指摘されている。

単なる欠品だけでなく、3割増といった急激な価格高騰が顕著である。

•樹脂製品:

PPバンドや緩衝材、ビニールシートなど、物流に不可欠な資材全般の入手が困難になっている。

2. 油剤・ケミカル類

•加工・潤滑油:

切削油や摺動面用油など、機械稼働に直結する油剤の在庫が枯渇している。特に潤滑油の供給停止が目立つ。

•洗浄剤:

パーツクリーナーや特定の工業用洗浄液（NKクリーナー等）の納期が不安定化している。

【中東情勢緊迫化による石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート：集計結果4】

3. 現場消耗品（MRO）

- 作業用手袋:** ゴム手袋やニトリル手袋などの特定銘柄で、在庫切れや価格高騰が発生している。
- 溶剤類:** 脱脂用シンナーの入手が困難になっており、自社のみならず次工程の外注（塗装業者等）の工程遅延を引き起こすリスクが生じている。

調達環境の変化についてまとめ

- 供給制限の常態化:** 「調達は可能だが数量限定」という回答が最多であり、必要量を確保できない綱渡りの状況にある。
- 見通しの不透明感:** 5月以降の供給未定や在庫時期不明といった回答があり、今後さらに調達難が深刻化する懸念がある。

【中東情勢緊迫化による石油化学系資材、消耗品（MRO）の供給状況について緊急アンケート】

- ・大口需要家による買い占めや流通業者の在庫の抱え込み
→政府・都道府県の行政諸機関（経産省、中小企業庁、公取委、東京都）が対応します。
- ・資金繰りを始めとした経営状況の悪化
→政府系金融機関、商工会議所が対応します。

本会として特別相談窓口の活用を推奨します。

中東・ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口

東京都における相談窓口は以下のURLよりアクセスして下さい。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2026/03/2026032504>